



遠いようでもなんだか近い
近いようでも見当たらない
ホントはそこらに潜んでる
思いのままに暮らして
ちょっと飛び出たはみだしもの
だけどこっちがお気に入り

ヤツらにしてみりゃ見てるだけ
ごく他愛もなく遊ぶだけ
その本能がそうさせる
そしていつしかひとまとめ
その名も愉快なシュニーカーズ
知らなくっても損はしない

愛でられること
親しまれること
それをも潔しとしない
それすら介在させない
私情とは違う
義務とも違う
ただ そうするだけ
ただ そこに在って見つめるだけ

手の届かない星のそばにも
すぐそばにある馴染みの物にも
ひっそり こっそり
シュニーカーズたちは隠れてる
ほら 君のそばにも

その忘れられぬ思い出の中に